



庭石

大正浪漫の詩人画家

竹久
夢二展

河村コレクション
特別公開

1993年6月4日(金) ▶ 7月4日(日)

開館 // 午前9時~午後5時(入室は午後4時30分まで)
初日は午前10時開展、毎週金曜日は午後7時まで
月曜休館

入場料 // 一般700円 高大生400円 小中生200円
(前売りおよび団体20名様以上は2割引)

主催 // 高松市美術館・読売新聞大阪本社・西日本放送・美術館連絡協議会

協賛 // 花王株式会社

高松市美術館

高松市紺屋町10-4
Phone(0878)23-1711



大正浪漫の詩人画家

竹久夢二展

河村コレクション特別公開

竹久夢二(1884~1934)は、「夢二式美人画」と呼ばれる女性像に代表される画家として、また『宵待草』の詩人として、さらには出版美術、商業デザイン、工芸などの分野でも幅広く活躍した芸術家です。大正期という比較的自由が謳歌された時代を象徴する画家として、彼と彼の作品は時代を作り出し、先導していったと言えるでしょう。

その絵画作品は、長崎や南蛮文化を取材した異国情緒の濃い作風、日本のアール・ヌーボーに広く影響を与えたデザイン・挿絵、また一方では、傾倒した東洋の南画を吸収し取り込むなど、「大正の歌麿」と評される美人画のみでは語り尽くせない、味わい深いものです。

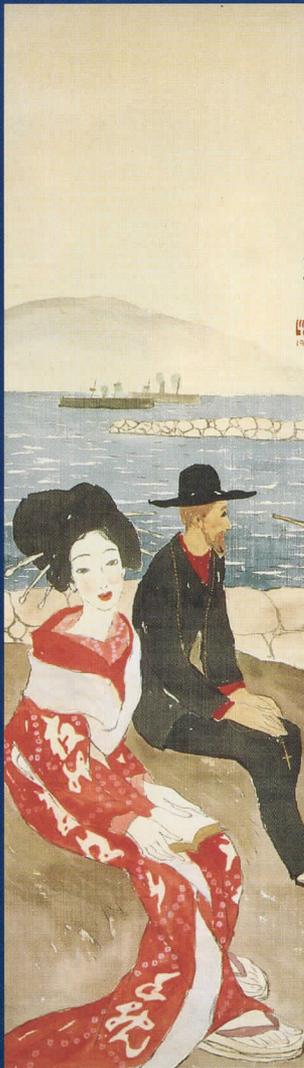
本展は、生前の夢二を知り、長年その作品の収集に努めてこられた河村幸次郎氏(現下関市立美術館名誉館長)のコレクションによるもので、近年の夢二への関心とその芸術への評価の高まりの中、夢二芸術の全体像に迫り、その足跡を紹介します。



旅



長崎十二景 眼鏡橋



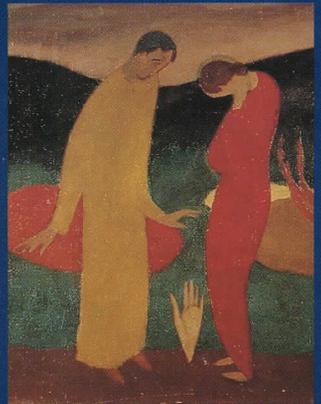
切支丹波天連渡来之図



紅衣扇舞



童謡小曲



青春譜

講演会

「夢二とその時代」

講師／小倉忠夫

(美術評論家・前京都国立近代美術館館長・名古屋ポスト美術館設立準備委員会常任顧問)

6月6日(日) 午後2時より
美術館1階講堂にて
入場無料 先着200名様

次回の催し物

「ムンク版画展」

—オスロ・ムンク美術館所蔵—

7月23日(金)～8月22日(日)

ミュージアム・ライブ—

維新派 チャンチャン★オペラ

6月12日(土) 午後7時開演
エントランスホール